

第三十八條第一項第一号から第五号まで及び第八号中「第三十九條」を「第三十九條第一項又は第二項」に改め、同項第八号中「第十一條の五」を「第十一條の六」に、「三十万円」を「四十四万円」に改め、同項の次に次の二項を加える。

自己を不具者、老年者、寡婦又は勤労学生として第三十九條第一

項又は第二項の規定による申告書を提出した者に対し給與を支拂う場合においては、その申告に応じ、その者が不具者、老年者、寡婦又は勤労学生に該当することに扶養親族一人を有するものとして前項の規定を適用する。

同條第二項中「前項」を「第一項」に、「同項」を「前二項」に改める。

第三十九條第一項中「給與の支拂

を受ける者を除く。」の下に「以下本條において同じ。」を加え、「並びに扶養親族及び不具者の氏名」と及び扶養親族又は不具者を有する場合にはその氏名、自己が不具者、老年者、寡婦又は勤労学生である場合に「給與の支拂者又は扶養親族若しくは不具者に」を「當該申告に係る事項について」に改め、同項の次に次の二項を加える。

この法律の施行地において支拂を受ける給與所得を有する者は、

命令の定めるところにより、第十

一條の五の規定により控除を受け

る保険料の金額その他必要な事項

を記載した申告書を、給與の支拂

を経由し、毎年最後に給與の支

拂を受ける日の前日までに、政府

に提出しなければならない。

同條第三項中「前二項」を「前三項」に改める。

第四十條中「支拂をなす者」の下に

「(當該個人に係る前條の規定による申告書の提出を経由した者であつて、且つ、當該個人に対しその年最

後に給與の支拂をなすものに限

る。)」を加え、「三十五万五千円と扶養親族及び不具者の数を一万二千円に乗じて計算した金額との合計金額」を「五十万円と第十一條の五乃至第十一條の十の規定により控除を受ける金額との合計金額」に、「第十一

條の三又は第十一條の四の規定によ

る控除前の當該所得に對して第十五

條の規定を適用した場合における税額」を「當該給與所得の收入金額(當該個人が前條第三項の規定による申告書を提出している場合においては、その申告に応じ、當該收入金額から第十一條の五の規定により控除を認められる保険料の金額を控除した金額)並びに申告された扶養親族

は不具者の有無及びその数に応じて別表第三に掲げる税額」に、「その

年最後に又はその翌年において給與

の支拂をなす際徵收すべき所得税額にこれを充當し、(徵收すべき税額がないときは還付し。)不足額は、

その年最後に又はその翌年において給與の支拂をなす際徵收すべき所得税額にこれを充當し、なお過納

額があるときはその翌年において給與の支拂をなす際徵收すべき所得税

額に順次これを充當し、(これらの

場合に徵收すべき税額がないとき

は、還付し)不足額は、その年最

後に給與の支拂をなす際徵收

し、なお不足額があるときはその翌

年において給與の支拂をなす際徵收する。)」を加え、「三十五万五千円と扶養親族及び不具者の数を一万二千円に乗じて計算した金額との合計金額」を「五十万円と第十一條の五乃至第十一條の十の規定により控除を受ける金額との合計金額」に、「第十一

條の三又は第十一條の四の規定によ

る控除前の當該所得に對して第十五

條の規定を適用した場合における税額」を「當該給與所得の收入金額(當該個人が前條第三項の規定による申告書を提出している場合においては、その申告に応じ、當該收入金額から第十一條の五の規定により控除を認められる保険料の金額を控除した金額)並びに申告された扶養親族

は不具者の有無及びその数に応じて別表第三に掲げる税額」に、「その

予定申告書若しくは十一月予定申告書を提出したもの又は修正予定申告書を提出した者」に改め、同條第二

項中「六月予定申告書、農業七月予

十一月予定申告書」を「七月予定申告書又は十一月予定申告書」に、「第二

十一條の三」を「第二十一條の二」に改め、同條第三項中「、第二十三條

第一項又は第二項の規定に該當する事実」を「不足額に改め、同條第五項

中「第十條の四」を「第十條の三」に改め、同條に次の二項を加える。

第三十八條第二項の規定は、前

項の場合において別表第三に掲げ

る税額を求めるときについて、こ

れを準用する。

第四十四條第一項中「六月予定申

告書、農業七月予定申告書、十月予

定申告書、農業十一月予定申告書、

十月修正予定申告書又は農業十一月

修正予定申告書」を「七月予定申告書

又は十一月予定申告書」に改め、「又

は農業確定申告書」及び「又は修正

書」を削り、同條第四項中「又は農業

確定申告書」を削り、同條第六項及

び第七項中「第二十六條の三」を「第

二十六條の二」に改め、「又は農業確定申告書」を削り、同條第四項中「又は農業

確定申告書」を削り、同條第八項

中「第十條の四」を「第十條の三」に改め、同條第二項中「第二十六條の二」に改め、同條第八項

第一項又は第二項の規定により控除を認められる保険料の金額を控除した金額)並びに申告された扶養親族

定する申告書を提出した者については、その申告した年分に係る第

四十四條又は第四十六條の規定に規定する損失申告書に相当する申告書又は第二十九條第一項に規

定期による所得税額の還付の請求を

申告書又は第二十九條第一項に規

(二)

課税総所得金額又は 調整所得金額(イ)		税額(ロ) (イ)に対する 割合	課税総所得金額又は 調整所得金額(イ)		税額(ロ) (イ)に対する 割合	課税総所得金額又は 調整所得金額(イ)		税額(ロ) (イ)に対する 割合
以上	未満		以上	未満		以上	未満	
222,000	224,000	63,800	28	293,000	296,000	92,200	31	368,000
224,000	226,000	64,600	28	296,000	299,000	93,400	31	371,000
226,000	228,000	65,400	28	299,000	302,000	94,600	31	374,000
228,000	230,000	66,200	29	302,000	305,000	95,900	31	377,000
230,000	233,000	67,000	29	305,000	308,000	97,250	31	380,000
233,000	236,000	68,200	29	308,000	311,000	98,600	32	383,000
236,000	239,000	69,400	29	311,000	314,000	99,950	32	386,000
239,000	242,000	70,600	29	314,000	317,000	101,300	32	389,000
242,000	245,000	71,800	29	317,000	320,000	102,650	32	392,000
245,000	248,000	73,000	29	320,000	323,000	104,000	32	395,000
248,000	251,000	74,200	29	323,000	326,000	105,350	32	398,000
251,000	254,000	75,400	30	326,000	329,000	106,700	32	401,000
254,000	257,000	76,600	30	329,000	332,000	108,050	32	404,000
257,000	260,000	77,800	30	332,000	335,000	109,400	32	407,000
260,000	263,000	79,000	30	335,000	338,000	110,750	33	410,000
263,000	266,000	80,200	30	338,000	341,000	112,100	33	413,000
266,000	269,000	81,400	30	341,000	344,000	113,450	33	416,000
269,000	272,000	82,600	30	344,000	347,000	114,800	33	419,000
272,000	275,000	83,800	30	347,000	350,000	116,150	33	422,000
275,000	278,000	85,000	30	350,000	353,000	117,500	33	425,000
278,000	281,000	86,200	31	353,000	356,000	118,850	33	428,000
281,000	284,000	87,400	31	356,000	359,000	120,200	33	431,000
284,000	287,000	88,600	31	359,000	362,000	121,550	33	434,000
287,000	290,000	89,800	31	362,000	365,000	122,900	33	437,000
290,000	293,000	91,000	31	365,000	368,000	124,250	34	440,000
								円 35

(備考) 課税総所得金額とは、災害等の控除、医療費控除、保険料控除、扶養控除、不具者控除、老年者控除、寡婦控除、勤労学生控除及び基礎控除をした後の金額をいい、調整所得金額とは、変動所得がある場合において第14條第1号の規定に従つて計算した金額をいう。

イ 月額表(三)

その月の給與の金額	甲 第三十八條第一項第一号の規定による税額											乙 第三十八條第一項第五号の規定による税額	
	扶養親族及び不具者の数												
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人		
以上未満	税額												
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
55,000	56,000	19,584	18,959	18,334	17,709	17,084	16,459	15,834	15,229	14,667	14,104	13,542	
56,000	57,000	20,084	19,459	18,834	18,209	17,584	16,959	16,334	15,709	15,117	14,554	13,992	
57,000	58,000	20,584	19,959	19,334	18,709	18,084	17,459	16,834	16,209	15,584	15,004	14,442	
58,000	59,000	21,084	20,459	19,834	19,209	18,584	17,959	17,334	16,709	16,084	15,459	14,892	
59,000	60,000	21,584	20,959	20,334	19,709	19,084	18,459	17,834	17,209	16,584	15,959	15,342	
60,000円	60,000円をこえる金額	22,084	21,459	20,834	20,209	19,584	18,959	18,334	17,709	17,084	16,459	15,834	
	60,000円の場合の税額に、給與の金額のうち60,000円をこえる金額の50%に相当する金額を加算した金額											23,334	

扶養親族及び不具者の数が10人をこえる場合には、扶養親族及び不具者の数が10人の場合の税額から、その10人をこえる1人ごとに280円を控除した金額

(備考 税額の求め方) まずその者の給與の金額に応じて給與の金額欄に該当する行を求め、その行とその者申告された扶養親族及び不具者の数(その者自身に不具者控除、老年者控除、寡婦控除又は勤労学生控除が認められる場合には、これらの控除が認められることに扶養親族1人を有するものとして計算する。)に応じて求めた該当欄との交るところに記載されている金額が、その求める税額である。

別表第二 紙與所得の所得税源泉徴収額表（第三十八條第一項第一号及び第五号の規定による所得税源泉徴収額表）

口 週 額 表 (一)

その週の 給與の金額	甲 第三十八條第一項第一号の規定による税額										乙 第三十八條第一項第一号の規定による税額	
	扶養親族及び不具者 の 数											
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人		
以上	未満	税額										
円 700円未満	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0
700	750	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119
750	800	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127
800	850	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136
850	900	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	144
900	950	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
950	1,000	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161
1,000	1,050	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
1,050	1,100	61	3	0	0	0	0	0	0	0	0	178
1,100	1,150	70	11	0	0	0	0	0	0	0	0	187
1,150	1,200	78	20	0	0	0	0	0	0	0	0	195
1,200	1,250	87	28	0	0	0	0	0	0	0	0	206
1,250	1,300	95	37	0	0	0	0	0	0	0	0	216
1,300	1,350	104	45	0	0	0	0	0	0	0	0	227
1,350	1,400	112	54	0	0	0	0	0	0	0	0	237
1,400	1,450	121	62	4	0	0	0	0	0	0	0	248
1,450	1,500	129	71	12	0	0	0	0	0	0	0	259
1,500	1,550	138	79	21	0	0	0	0	0	0	0	269
1,550	1,600	146	88	29	0	0	0	0	0	0	0	280
1,600	1,650	155	96	38	0	0	0	0	0	0	0	291
1,650	1,700	163	105	46	0	0	0	0	0	0	0	301
1,700	1,750	172	113	55	0	0	0	0	0	0	0	312
1,750	1,800	180	122	63	5	0	0	0	0	0	0	322
1,800	1,850	189	130	72	14	0	0	0	0	0	0	333
1,850	1,900	198	139	80	22	0	0	0	0	0	0	344
1,900	1,950	208	147	89	31	0	0	0	0	0	0	354
1,950	2,000	219	156	97	39	0	0	0	0	0	0	365
2,000	2,050	230	164	106	48	0	0	0	0	0	0	376
2,050	2,100	240	173	114	56	0	0	0	0	0	0	386
2,100	2,150	251	181	123	65	6	0	0	0	0	0	397
2,150	2,200	261	190	131	73	15	0	0	0	0	0	407
2,200	2,250	272	199	140	82	23	0	0	0	0	0	418
2,250	2,300	283	210	148	90	32	0	0	0	0	0	429
2,300	2,350	293	220	157	99	40	0	0	0	0	0	440
2,350	2,400	304	231	165	107	49	0	0	0	0	0	453
2,400	2,450	315	242	174	116	57	0	0	0	0	0	466
2,450	2,500	325	252	182	124	66	7	0	0	0	0	478
2,500	2,550	336	263	191	133	74	16	0	0	0	0	491
2,550	2,600	346	273	200	141	83	24	0	0	0	0	504
2,600	2,650	357	284	211	150	91	33	0	0	0	0	517
2,650	2,700	368	295	222	158	100	41	0	0	0	0	529
2,700	2,750	378	305	232	167	108	50	0	0	0	0	542
2,750	2,800	389	316	243	175	117	58	0	0	0	0	555
2,800	2,850	400	327	254	184	125	67	8	0	0	0	568
2,850	2,900	410	337	264	192	134	75	17	0	0	0	580
2,900	2,950	421	348	275	202	142	84	25	0	0	0	593
2,950	3,000	431	358	285	212	151	92	34	0	0	0	606
3,000	3,050	443	369	296	223	159	101	42	0	0	0	619
3,050	3,100	456	380	307	234	168	109	51	0	0	0	631
3,100	3,150	469	390	317	244	176	118	59	1	0	0	644
3,150	3,200	482	401	328	255	185	126	68	9	0	0	657
3,200	3,250	494	412	339	266	193	135	76	18	0	0	670
3,250	3,300	507	422	349	276	203	143	85	26	0	0	682
3,300	3,350	520	433	360	287	214	152	93	35	0	0	695
3,350	3,400	533	445	370	297	224	160	102	43	0	0	708
3,400	3,450	545	458	381	308	235	169	110	52	0	0	721

口 週額表(三)

その週の給與 の金額	甲 第三十八條第一項第一号の規定による税額										乙 第三 十八條第一項第五 号の規定による税 額		
	扶養親族及び不具者の数												
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人			
以上未満	税額												
10,250	10,500	3,308	3,177	3,046	2,914	2,783	2,651	2,520	2,389	2,257	2,126	1,994	3,571
10,500	10,750	3,421	3,290	3,158	3,027	2,895	2,764	2,633	2,501	2,370	2,238	2,107	3,694
10,750	11,000	3,533	3,402	3,271	3,139	3,008	2,876	2,745	2,614	2,482	2,351	2,219	3,819
11,000	11,250	3,652	3,515	3,383	3,252	3,120	2,989	2,858	2,726	2,595	2,463	2,332	3,944
11,250	11,500	3,777	3,631	3,496	3,364	3,233	3,101	2,970	2,839	2,707	2,576	2,444	4,069
11,500	11,750	3,902	3,756	3,610	3,477	3,345	3,214	3,083	2,951	2,820	2,688	2,557	4,194
11,750	12,000	4,027	3,881	3,735	3,589	3,458	3,326	3,195	3,064	2,932	2,801	2,669	4,319
12,000	12,250	4,152	4,006	3,860	3,714	3,570	3,439	3,308	3,176	3,045	2,913	2,782	4,444
12,250	12,500	4,277	4,131	3,985	3,839	3,693	3,551	3,420	3,289	3,157	3,026	2,894	4,569
12,500	12,750	4,402	4,256	4,110	3,964	3,818	3,672	3,533	3,401	3,270	3,138	3,007	4,694
12,750	13,000	4,527	4,381	4,235	4,089	3,943	3,797	3,651	3,514	3,382	3,251	3,119	4,819
13,000	13,250	4,652	4,506	4,360	4,214	4,068	3,922	3,776	3,630	3,495	3,363	3,232	4,944
13,250	13,500	4,777	4,631	4,485	4,339	4,193	4,047	3,901	3,755	3,609	3,476	3,344	5,069
13,500	13,750	4,902	4,756	4,610	4,464	4,318	4,172	4,026	3,880	3,934	3,588	3,457	5,194
13,750	14,000	5,027	4,881	4,735	4,589	4,443	4,297	4,151	4,005	3,859	3,713	3,569	5,319
14,000	14,250	5,152	5,006	4,860	4,714	4,568	4,422	4,276	4,130	3,984	3,838	3,692	5,444
14,250	14,500	5,277	5,131	4,985	4,839	4,693	4,547	4,401	4,255	4,109	3,963	3,817	5,569
14,500	14,750	5,402	5,256	5,110	4,964	4,818	4,672	4,526	4,380	4,234	4,088	3,942	5,694
14,750	15,000	5,527	5,381	5,235	5,089	4,943	4,797	4,651	4,505	4,359	4,213	4,067	5,819
15,000円		5,652	5,506	5,360	5,214	5,068	4,922	4,776	4,630	4,484	4,338	4,192	5,944
15,000円をこ える金額	15,000円の場合の税額に、給與の金額のうち15,000円をこえる金額の50%に相当する金額を加 算した金額												
扶養親族及び不具者の数が10人をこえる場合には、扶養親族及び不具者の数が10人の場合の税額から、その10 人をこえる1人ごとに70円を控除した金額													

(備考 税額の求め方) まずその者の給與の金額に応じて給與の金額欄に該当する行を求め、その行とその者の申告された扶養親族及び不具者の数(その者自身に不具者控除、老年者控除、寡婦控除又は勤労学生控除が認められる場合には、これらの控除が認められるごとに扶養親族1人を有するものとして計算する。)に応じて求めた該当欄との交るところに記載されている金額が、その求める税額である。

別表第二 紙與所得の所得税源泉徴収額表（第三十八條第一項第一号、
第五号及び第六号の規定による所得税源泉徴収額表）

ハ 日 額 表 (一)

その日の 給與の金額	甲 第三十八條第一項第一号の規定による税額										乙 第三十八條第一項第五号の規定による税額	丙 第三十八條第一項第六号の規定による税額	
	扶養親族及び不具者の数												
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人		
以上未満	税	額											
110円未満	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	円0	
110	120	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
120	130	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
130	140	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
140	150	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
150	160	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
160	170	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
170	180	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
180	190	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
190	200	15	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
200	210	17	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
210	220	18	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
220	230	20	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
230	240	22	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
240	250	24	15	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
250	260	25	17	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
260	270	27	19	10	2	0	0	0	0	0	0	0	
270	280	29	20	12	3	0	0	0	0	0	0	0	
280	290	31	22	14	5	0	0	0	0	0	0	0	
290	300	33	24	15	7	0	0	0	0	0	0	0	
300	310	35	25	17	9	0	0	0	0	0	0	0	
310	320	37	27	19	10	2	0	0	0	0	0	0	
320	330	40	29	20	12	4	0	0	0	0	0	0	
330	340	42	31	22	14	5	0	0	0	0	0	0	
340	350	44	33	24	15	7	0	0	0	0	0	0	
350	360	46	35	25	17	9	0	0	0	0	0	0	
360	370	48	38	27	19	10	2	0	0	0	0	0	
370	380	50	40	29	20	12	4	0	0	0	0	0	
380	390	52	42	31	22	14	5	0	0	0	0	0	
390	400	54	44	33	24	15	7	0	0	0	0	0	
400	410	57	46	36	26	17	9	0	0	0	0	0	
410	420	59	48	38	27	19	10	2	0	0	0	0	
420	430	61	50	40	29	21	12	4	0	0	0	0	
430	440	63	52	42	31	22	14	5	0	0	0	0	
440	450	66	55	44	34	24	16	7	0	0	0	0	
450	460	68	57	46	36	26	17	9	0	0	0	0	
460	470	71	59	48	38	27	19	11	2	0	0	0	
470	480	73	61	50	40	29	21	12	4	0	0	0	
480	490	76	63	53	42	32	22	14	6	0	0	0	
490	500	78	66	55	44	34	24	16	7	0	0	0	
500	520	81	68	57	46	36	26	17	9	1	0	0	
520	540	86	73	61	51	40	30	21	12	4	0	0	
540	560	91	78	66	55	44	34	24	16	7	0	0	
560	580	96	84	71	59	49	38	28	19	11	2	0	
580	600	102	90	77	64	54	43	33	23	15	6	0	
600	620	110	96	83	70	59	48	38	27	19	10	2	
620	640	117	102	89	76	64	53	43	32	23	14	6	
640	660	124	109	95	82	70	58	48	37	27	18	10	
660	680	131	116	101	88	76	63	53	42	32	22	14	
680	700	138	123	108	94	82	69	58	47	37	26	18	
700	720	145	130	115	100	88	75	63	52	42	31	22	
720	740	152	137	122	108	94	81	69	57	47	36	26	
740	760	159	144	129	115	100	87	75	62	52	41	31	
760	780	167	151	136	122	107	93	81	68	57	46	36	
780	800	175	159	143	129	114	99	87	74	62	51	41	
800	820	183	167	150	136	121	106	93	80	67	56	46	

ハ 日額表(二)

その日の 給與の金額	甲 第三十八條第一項第一号の規定による税額											第三 十八條第 一項第五 号の規定 による税額	第三 十八條第 一項第六 号の規定 による税額	
	扶養親族及び不具者の数													
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人			
以上未満	税額													
820円	840円	191円	175円	158円	143円	128円	113円	99円	86円	73円	61円	51円	225円	98円
840円	860円	199円	183円	166円	150円	135円	120円	106円	92円	79円	67円	56円	233円	104円
860円	880円	207円	191円	174円	157円	142円	127円	113円	98円	85円	73円	61円	241円	110円
880円	900円	215円	199円	182円	165円	149円	134円	120円	105円	91円	79円	66円	249円	116円
900円	920円	223円	207円	190円	173円	156円	141円	127円	112円	97円	85円	72円	257円	122円
920円	940円	231円	215円	198円	181円	164円	148円	134円	119円	103円	91円	78円	265円	128円
940円	960円	239円	223円	206円	189円	172円	155円	141円	126円	111円	97円	84円	274円	134円
960円	980円	247円	231円	214円	197円	180円	163円	148円	133円	118円	103円	90円	283円	140円
980円	1,000円	255円	239円	222円	205円	188円	171円	155円	140円	125円	110円	96円	292円	146円
1,000円	1,050円	263円	247円	230円	213円	196円	179円	163円	147円	132円	117円	102円	301円	153円
1,050円	1,100円	285円	267円	250円	233円	216円	199円	183円	166円	150円	135円	120円	323円	170円
1,100円	1,150円	308円	289円	270円	253円	236円	219円	203円	186円	169円	152円	138円	346円	188円
1,150円	1,200円	330円	312円	293円	274円	256円	239円	223円	206円	189円	172円	155円	368円	205円
1,200円	1,250円	353円	334円	315円	296円	277円	259円	243円	226円	209円	192円	175円	391円	225円
1,250円	1,300円	375円	357円	338円	319円	300円	281円	263円	246円	229円	212円	195円	413円	245円
1,300円	1,350円	398円	379円	360円	341円	322円	303円	285円	266円	249円	232円	215円	436円	265円
1,350円	1,400円	420円	402円	383円	364円	345円	326円	307円	288円	269円	252円	235円	458円	285円
1,400円	1,450円	443円	424円	405円	386円	367円	348円	330円	311円	292円	273円	255円	481円	305円
1,450円	1,500円	465円	447円	428円	409円	390円	371円	352円	333円	314円	295円	276円	503円	325円
1,500円	1,550円	488円	469円	450円	431円	412円	393円	375円	356円	337円	318円	299円	528円	345円
1,550円	1,600円	510円	492円	473円	454円	435円	416円	397円	378円	359円	340円	321円	553円	365円
1,600円	1,650円	536円	515円	495円	476円	457円	438円	420円	401円	382円	363円	344円	578円	388円
1,650円	1,700円	561円	540円	519円	499円	480円	461円	442円	423円	404円	385円	366円	603円	410円
1,700円	1,750円	586円	565円	544円	523円	502円	483円	465円	446円	427円	408円	389円	628円	433円
1,750円	1,800円	611円	590円	569円	548円	527円	506円	487円	468円	449円	430円	411円	653円	455円
1,800円	1,850円	636円	615円	594円	573円	552円	531円	510円	491円	472円	453円	434円	678円	478円
1,850円	1,900円	661円	640円	619円	598円	577円	556円	535円	513円	494円	475円	456円	703円	500円
1,900円	1,950円	686円	665円	644円	623円	602円	581円	560円	539円	518円	498円	479円	728円	523円
1,950円	2,000円	711円	690円	669円	648円	627円	606円	585円	564円	543円	522円	501円	753円	545円
2,000円		736円	715円	694円	673円	652円	631円	610円	589円	568円	547円	526円	778円	568円
2,000円をこえる る金額	2,000円の場合の税額に、給與の金額のうち2,000円をこえる金額の50%に相当する金額を加 算した金額													

扶養親族及び不具者の数が10人をこえる場合には、扶養親族及び不具者の数が10人の場合の税額から、その10人をこえる1人ごとに10円を控除した金額

(備考 税額の求め方) まずその者の給與の金額に応じて給與の金額欄に該当する行を求め、その行とその者の申告された扶養親族及び不具者の数(その者自身に不具者控除、老年者控除、寡婦控除又は勤労学生控除が認められる場合にはこれらの控除が認められるごとに扶養親族1人を有するものとして計算する。)に応じて求めた該当欄との交るところに記載されている金額が、その求める税額である。

別表第三 年末調整のための簡易税額表（第四十條の規定による所得税

額表)

(一)

その年の保険料 控除後の給與の 金額	扶養親族及び不具者の数											
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	
以上	未満	税額										
35,890	35,890 円未満	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	
35,890	36,480	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
36,480	37,060	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
37,060	37,650	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
37,650	38,240	400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
38,240	38,830	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
38,830	39,420	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
39,420	40,000	700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40,000	41,180	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
41,180	42,360	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
42,360	43,530	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
43,530	44,710	1,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
44,710	45,890	1,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
45,890	47,060	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
47,060	48,240	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
48,240	49,420	2,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
49,420	50,590	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50,590	51,770	2,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
51,770	52,950	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
52,950	54,120	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
54,120	55,300	3,200	200	0	0	0	0	0	0	0	0	
55,300	56,480	3,400	400	0	0	0	0	0	0	0	0	
56,480	57,650	3,600	600	0	0	0	0	0	0	0	0	
57,650	58,830	3,800	800	0	0	0	0	0	0	0	0	
58,830	60,000	4,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
60,000	61,180	4,200	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	
61,180	62,360	4,400	1,400	0	0	0	0	0	0	0	0	
62,360	63,530	4,600	1,600	0	0	0	0	0	0	0	0	
63,530	64,710	4,800	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	
64,710	65,890	5,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
65,890	67,060	5,200	2,200	0	0	0	0	0	0	0	0	
67,060	68,240	5,400	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	
68,240	69,420	5,600	2,600	0	0	0	0	0	0	0	0	
69,420	70,590	5,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	
70,590	71,770	6,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
71,770	72,950	6,200	3,200	200	0	0	0	0	0	0	0	
72,950	74,120	6,400	3,400	400	0	0	0	0	0	0	0	
74,120	75,300	6,600	3,600	600	0	0	0	0	0	0	0	
75,300	76,480	6,800	3,800	800	0	0	0	0	0	0	0	
76,480	77,650	7,000	4,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	
77,650	78,830	7,200	4,200	1,200	0	0	0	0	0	0	0	
78,830	80,000	7,400	4,400	1,400	0	0	0	0	0	0	0	
80,000	81,180	7,600	4,600	1,600	0	0	0	0	0	0	0	
81,180	82,360	7,800	4,800	1,800	0	0	0	0	0	0	0	
82,360	83,530	8,000	5,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0	
83,530	84,710	8,200	5,200	2,200	0	0	0	0	0	0	0	
84,710	85,890	8,400	5,400	2,400	0	0	0	0	0	0	0	
85,890	87,060	8,600	5,600	2,600	0	0	0	0	0	0	0	
87,060	88,240	8,800	5,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	
88,240	89,420	9,000	6,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	
89,420	90,590	9,200	6,200	3,200	200	0	0	0	0	0	0	
90,590	91,770	9,400	6,400	3,400	400	0	0	0	0	0	0	
91,770	92,950	9,600	6,600	3,600	600	0	0	0	0	0	0	
92,950	94,120	9,800	6,800	3,800	800	0	0	0	0	0	0	
94,120	95,300	10,000	7,000	4,000	1,000	0	0	0	0	0	0	

(六)

その年の保険料控除後の給與の金額	扶養親族及び不具者の数									
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人
以上未満	税額									
円 620,000	円 623,000	円 626,000	円 629,000	円 632,000	円 635,000	円 638,000	円 641,000	円 644,000	円 647,000	円 650,000
623,000	626,000	629,000	632,000	635,000	638,000	641,000	644,000	647,000	650,000	650,000
635,000円										
638,000	641,000	644,000	647,000	650,000						
641,000	644,000	647,000	650,000							
644,000	647,000	650,000								
647,000	650,000									
650,000円										

扶養親族及び不具者の数が10人をこえる場合には、その年の保険料控除後の給與の金額からその15%に相当する金額（その金額が30,000円をこえる場合には、30,000円）を控除し、その控除後の金額について扶養控除、不具者控除、老年者控除、寡婦控除及び勤労学生控除をなした後の金額を課税總所得金額とみなし、その金額に応じ、別表第一 所得税の簡易税額表に定める金額 並びに基礎控除

（備考 税額の求め方）まずその者のその年の給與所得の収入金額から、その者がその年中に支拂つた保険料の申告があれば、その申告に応じて支拂つた保険料の金額（その金額が2,000円をこえる場合には、2,000円）を控除し、その控除後の金額に応じ給與の金額欄に該当する行を求め、その行とその者の申告された扶養親族及び不具者の数（その者自身に不具者控除、老年者控除、寡婦控除又は勤労学生控除が認められる場合には、これらの控除が認められるごとに扶養親族一人を有するものとして計算する。）に応じて求めた該当欄との交るところに記載されている金額が、その求める税額である。

1 この法律は、昭和二十六年四月一日から施行する。

2 改正後の所得税法（以下「新法」という。）中給與所得及び退職所得の源泉徴収に関する規定は、昭和二十六年四月一日以後に支拂期が到来する給與所得及び退職所得から適用し、同日前に支拂期が到来した給與所得及び退職所得の源泉徴収については、なお従前の例に従う。

3 所得税法臨時特例法（昭和二十五年法律第二百八十二号）第一條 第一項第一号又は第三号の規定の適用を受ける給與所得で、その支拂期が昭和二十六年一月一日から同年三月三十一日までの間に到来したものに対する同項の規定によると、当該給與所得の支拂をする者は、超過額は、同年四月一日以後最初に給與所得の支拂をするときは、当該給與所得の支拂をするときは、超過額は、同年四月一日以後最初に給與所得の支拂をするときは、超過額があるときは次回以降に給與所得の支拂をする際徴収すべき所得税額に充當し、なお超過額があるときは次回以降に給與所得の支拂をする際徴収すべき税額がないときは、還付し、不足額は、同日以後最初に給與所得の支拂をする際徴収し、なお不足額があるときは次回以降に給與所得の支拂をする際徴収し、それぞれその場合に徴収すべき税額がない場合は、還付し、不足額は、同

4 前項の規定により徴収して納付すべき所得税は、所得税法の規定の適用については、同法第三十八條第一項の規定により徴収して納付すべき所得税とみなす。

5 新法第四十八條第二項但書（同法第四十九條第二項において準用する場合を含む。）の規定は、昭和二十六年四月一日以後同法第四十八條第二項但書に規定する更正又は賦課の処分に関する通知をしたものに係る分から適用する。

6 第二項及び前項に定めるものを除く外、新法の規定（第六十一條の二の改正規定に係る部分、第六十一條の三及び第七十條第六号の改正規定に係る部分を除く。）は、昭和二十六年分以後の所得税から適用し、昭和二十五年分以前の所得については、なお従前の例による。

7 事業所得、不動産所得、山林所得又は譲渡所得を有する個人で、昭和二十六年一月一日以後これら所得の計算に關し新法第二十六条の三第二項の規定に基く命令に準拠した帳簿書類を備えているものは、同條第四項の規定にかかるらず、この法律施行後二月以内に、昭和二十六年分以後青色申告の支拂を受ける者が第八項の

規定による申告書を提出したときは、当該申告書に記載した事項を記載した新法第三十九條第一項又は第二項の規定による申告書を同條の規定により当該申告書を提出すべきものとされた日までに提出していたものとみなして新法第三十八条第一項の規定による所得税額を計算するものとする。

8 前項の規定により徴収して納付すべき所得税は、所得税法の規定の適用については、同法第三十八條第一項の規定により徴収して納付すべき所得税とみなす。

書を提出することの承認について
同項の規定による申請書を納税地
の所轄税務署長に提出することが
できる。

8 新法第三十九條第一項の規定の
適用を受ける者は、この法律施行
の際にその者が新法第八條第三項
から第五項までに規定する老年
者、寡婦若しくは勤労学生に該當
する場合又はこの法律の施行に因
りその者について新法第八條第一
項若しくは第二項に規定する扶養
親族若しくは不具者との法律施
行前に改正前の所得稅法第三十九
條の規定により提出した申告書に
記載した扶養親族又は不具者とが
異なることとなつた場合において
は、この法律施行後最初に給與所
得の支拂を受ける日の前日まで
に、新法第三十九條第一項又は第
二項の規定に準じて、申告書を政
府に提出しなければならない。

9 昭和二十五年分について確定申
告書、損失申告書又は所得稅法第
二十九條第一項に規定する申告書
を提出した者については、詐偽そ
の他不正の行為により当該年分の
所得稅を免れた場合を除く外、昭
和三十年四月一日以後は、時効期
間満了前でも、第六項の規定にか
わらず、当該年分に係る同法第
四十四條又は第四十六條の規定に
よる更正又は決定をすることがで
きない。

10 災害被害者に対する租稅の減
免、徵收猶予等に関する法律（昭
和二十一年法律第百七十五号）の
一部を次のように改訂する。

第二條第二項を削り、同條第三

項中「第一項」を「前項」に、「第十
八号」の一部を次のように改訂す
る。

四條第一項」を「第十四條」に改め

11 災害被害者に対する租稅の減
免、徵收猶予等に関する法律の一
部を改正する法律（昭和二十五年
法律第七十号）の一部を次のよう
に改正する。

附則第四項中「第二十一條の二
第一項」、「第二十二條の二第一
項」及び「第二十六條の三第一
項」を削る。

12 昭和二十五年分の所得稅に對す
る災害被害者に対する租稅の減
免、徵收猶予等に関する法律の一
部を改正する法律附則第三項の規
定の適用については、前項の規定
にかかわらず、同項の規定による
改正前の同法附則第四項の規定の
例による。

13 連合國軍人等住宅公社法（昭和
二十五年法律第八十二号）の一部
を次のように改正する。

第七條第一項及び同條第二項の
項番号を削る。

14 放送法（昭和二十五年法律第百
三十二号）の一部を次のように改
正する。

第四十八條を次のように改
る。

第四十八條 削除

15 港湾法（昭和二十五年法律第二
百十八号）の一部を次のように改
正する。

第十條を次のように改める。

第十條 削除

法人稅法の一部を改正する法律案
法人稅法の一部を改正する法律案

法人稅法（昭和二十一年法律第二
十八号）の一部を次のように改訂す
る。

第四條第二項中「法令による公
社、」の下に「連合國軍人等住宅公
司」と加え、同條第三項中「船舶運
營会」と「商船管理委員会」に改め、
同條第四項中「及び社会保險診療報酬
融支拂基金」と「社会保險診療報酬
支拂基金及び日本放送協会」に改め
る。

第五條第二項中「國家公務員法」の
下に「又は地方公務員法」を加え、「國
家公務員の組合その他の団体」を「國
家公務員又は地方公務員の団体」に
改める。

第七條の二第二項中「第三十一條
の二」を「第三十一條の三」に改め
る。

第九條第一項中「又は罰金」を「
地方稅法の規定による市町村民稅又
は罰金」に、「又は國稅徵收法第九條
第三項」を、「國稅徵收法第九條第三
項又は地方稅法に、「又は延滞加算
稅額に相当する國稅」と「延滞加算
稅額に相当する國稅又は過少申告加
算金額、不申告加算金額、重加算金
額若しくは延滞加算金額」に改め、
同條第七項中「第九條の八」を「第九
條の九」に改める。

第九條の六第二項第一号中「株式
又は出資については、その拂込金
額。以下本條において同じ。」を

削り、同項第三号中「拂込金額」を
「価額」に改め、同項に次の一号を加
える。

第九條の六第二項第一号中「株式
又は出資については、その拂込金
額。以下本條において同じ。」を

削り、同項第三号中「拂込金額」を
「価額」に改め、同項に次の一号を加
える。

第九條の二中「株式」を「額面株
式」に、「から當該株式の發行のた
めに要した費用の額を控除した金
額」を及び無額面株式を發行した場
合のその發行額のうち資本に組み
入れなかつた金額に改める。

同條第三項中「前項各号の場合」を
「前項第一号乃至第三号に規定する
場合」に、「その拂込金額」を「當該株

に対する割り当てた株式の金額又はこ
れらの者の出資に引き当たった金額の
合計額」を「合併法人の合併に因り増
加した資本又は出資の金額（合併に
因り法人を設立した場合には、當該
法人を設立した場合には、當該

式又は出資の価額」に改め、同條に
次の一項を加える。

第二項第一号又は第二号に規定す

る場合において、株式の消却、資本
の減少、退社、脱退、出資の減少又は
解散に因り取得する財産のうちに株
式又は出資があるときにかかる当該
株式又は出資の価額及び同項第三号
に規定する場合において合併に因り
取得する株式又は出資の価額は、前
三項の規定の適用については、當該
株式の額面金額又は當該出資の金額
による。但し、第二項第一号又は第
二号に規定する場合において合併に因
り取得する株式又は出資の価額は、前
三項の規定の適用については、當該
株式の額面金額又は當該出資の金額
による。但し、第二項第一号又は第
二号に規定する場合において合併に因
り取得する株式又は出資の価額は、前
三項の規定の適用については、當該
株式の額面金額又は當該出資の金額
による。

又は出資については、その拂込金
額。以下本條において同じ。」を

削り、同項第三号中「拂込金額」を
「価額」に改め、同項に次の一号を加
える。

一、当該株式の取扱の基準となつた
株式の消却、資本の減少若しくは
出資の減少に関する決議があり、
退社若しくは脱退があり、又は解
散に因る残余財産の分配に関する
決議があつた時における当該株式
を発行する法人の資本の金額を發
行済株式の総数で除した金額

二、当該合併に因り増加した資本の
金額（合併に因り法人を設立した
場合には、當該法人の設立の時に
おける資本の金額）を當該合併に
因り発行した株式の総数で除した

金額

第九條の八の次に次の一條を加え
る。

第九條の九 法人が各事業年度にお

第一類第六号 大蔵委員会議録第十二号 昭和二十六年一月十日

本法ハ本州、北海道、四国、九州
及其ノ附屬ノ島(命令ノ定ムル地域
ヲ除ク)ニ之ヲ施行ス
附則第三項中「汽車、電車、乗合
自動車及汽船」を「汽車等」に改める。

1 この法律は、昭和二十六年四月
一日から施行する。
2 改正後の通行税法第一條、第三
條、第八條、第九條、第十條及び
第十二條の規定中航空機の乗客、
航空機による運輸業を営む者及び
その者に代り航空機搭乗券を販売
する者に関する部分は、この法律
施行の日から起算して六月をこえ
ない期間内において政令で定める
日から適用する。
3 この法律施行前に課した、又は
課すべきあつた通行税については、なお
従前の例による。

登録税法の一部を改正する法律案
登録税法の一部を改正する法律案
登録税法(明治二十九年法律第二
十七号)の一部を次のように改まる。
第六條第一項中「第六号」を削り、
同項第三号中「拂込株金額」を「資本
ノ金額」に改め、同項第四号中「增
資拂込金額」を「増加資本ノ金額」に
改め、同項第五号から第八号までを
次のように改める。

五乃至八 削除
同條第一項第九号中「拂込株金額
及財産ヲ目的トスル株金以外ノ出資
ノ価格 千分ノ一・五」を「株式
其ノ会社ニ在リテハ資本ノ金額
スル出資ノ価格 千分ノ一・五」に改
め、同項但書中「拂込株金額及財產
ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ価
格」を「資本ノ金額(当該会社株式会
社以外ノ会社ナル場合ニ在リテハ財
産ヲ目的トスル出資ノ価格)」に改
め、同條第十号中「増資拂込株金額
及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資
ノ価格 千分ノ一・五」を「株式会
社ニ在リテハ増加資本ノ金額
ノ会社ニ在リテハ財産ヲ目的トスル
増資出資ノ価格 千分ノ一・五」に改
め、同号但書中「拂込株金額及財產
ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ価
格」を「資本ノ金額(当該会社株式会
社以外ノ会社ナル場合ニ在リテハ
増資出資ノ価格)」に改め、同項
第十四号ノ五、第十五号但書及び第
十八号ノ四を削る。

第七條第一項中「医師、助産婦、甲種看護婦、厚生大
臣ノ免許ヲ受ケタル男子タル看護
人」を加え、同條第一号中「医師、
歯科医師 金三千円」を

護人 金三千円 に改める。
第七條第一項中「設定期区」を
「分割後ノ鉱区」に改め、同條第七号
七 抵当権ノ設定
債權金額 千分ノ六・五

七ノ二 鉱業法第五十一条ニ基キ
為シタル承諾及協定ニ因ル抵當
權ノ変更 每一件 金三百円
同條第十六号中「更正、」を削る。
第五十條第二項中「設定鉱区」を
「分割後ノ鉱区」に改め、同條第四号
を次のように改める。
四 抵當権ノ設定
債權金額 千分ノ六・五
四ノ二 鉱業法第五十一條ニ基キ
為シタル承諾及協定ニ因ル抵當
權ノ変更
同一号中「更正、」を削る。
同條第十二号中「更正、」を削る。

同條第十二号中「更正、」を削る。
第五十條第二項中「骨牌税、」を削
り、「地方税法(昭和二十五年法律
第百二十六号)」に改める。
第三十五條の次に次の一條を加え
る。
四 正規の期間
第三十五條の二 確定申告書、最終
確定申告書若しくはこれらの申告
書に係る期限後申告書又は第五十
二條第一項の規定による明細書
(当該明細書の提出期限後に提出
された明細書又は明細書に
係る年分の課税価格又は相続税額
については、前條の規定による更
正(課税価格又は相続税額を減額
する更正を除く)又は決定は、確
定申告書最終確定申告書又は明細書
の提出があつた場合には、その日
と申告書又は明細書を提出した日
から二年を経過した日とのいすれ
か遲い日)以後においては、する
ことができる。但し、詐偽その他
不正の行為により相続税を免れ
た者の当該相続税については、こ
の限りでない。

三 前項の規定は、時効に関する他
の法律の規定の適用を妨げるもの
と解してはならない。
第三十六條第一項中「前條」を「第
三十五條」に改める。

七 第三條第一項第一号に掲げる
保険金の合計額のうち十万円ま
での金額 第十四條第一項中「骨牌税、」を削
り、「地方税法(昭和二十五年法律
第百二十六号)」に改める。
第三十五條の次に次の一條を加え
る。
四 正規の期間
第三十五條の二 確定申告書、最終
確定申告書若しくはこれらの申告
書に係る期限後申告書又は第五十
二條第一項の規定による明細書
(当該明細書の提出期限後に提出
された明細書又は明細書に
係る年分の課税価格又は相続税額
については、前條の規定による更
正(課税価格又は相続税額を減額
する更正を除く)又は決定は、確
定申告書最終確定申告書又は明細書
の提出があつた場合には、その日
と申告書又は明細書を提出した日
から二年を経過した日とのいすれ
か遲い日)以後においては、する
ことができる。但し、詐偽その他
不正の行為により相続税を免れ
た者の当該相続税については、こ
の限りでない。

三 前項の規定は、時効に関する他
の法律の規定の適用を妨げるもの
と解してはならない。
第三十六條第一項中「前條」を「第
三十五條」に改める。

四 正規の期間
第三十五條の二 確定申告書、最終
確定申告書若しくはこれらの申告
書に係る期限後申告書又は明細書
の提出があつた場合には、その日
と申告書又は明細書を提出した日
から二年を経過した日とのいすれ
か遲い日)以後においては、する
ことができる。但し、詐偽その他
不正の行為により相続税を免れ
た者の当該相続税については、こ
の限りでない。

三 前項の規定は、時効に関する他
の法律の規定の適用を妨げるもの
と解してはならない。
第三十六條第一項中「前條」を「第
三十五條」に改める。

改正を行ひ、相当大軒な負担の軽減をはかりましたので、今回は若干の規定を整備するにとどめ、近く提案する見込みの租税特別措置法におきまして、無額面株式を発行するため必要な措置を講ずることといたしております。

法人税法の改正としましては、近く改正商法が施行されることに伴い、無額面株式を発行した場合の発行価格の額面株式を発行した場合の発行価格のうち、資本に組み入れなかつた金額を、額面株式を発行した場合のプレミアムと同様、益金に算入しないこととする等規定の整備をはかることとし、また法人税法に規定する同族会社に該当する会社でありますても、その親会社が非同族会社であるときには、同族会社の積立金課税を行わないこととしたしました。

次に、相続税法の一部を改正する法律案について申し上げます。

相続税におきましては、資本蓄積措置の一環として、被相続人の死亡により、相続人その他の者が取得する生命保険金につきましては、取得者ごとに十万円を限度として特別に控除することとしております。

次に、通行税法の一部を改正する法律案について申し上げます。

通行税につきましては、近くわが国で民間航空が再開される見込みでありますので、その際は航空機の乗客に対し、通行税の一般税率である百分の二十で課税を行うこととするとともに、汽船の二等乗客の料金に対しましては、その性質にかんがみ通行税を課さないことをいたしました。

次に登録税法の一部を改正する法律案について申し上げます。

登録税の改正はまつたく技術的なも

のでありまして、近く改正商法が施行されることに伴いまして、無額面株式が発行される場合には、その発行価額額定の整備をはかつてゐるのであります。

次に、印紙税法の一部を改正する法律案について申し上げます。

印紙税につきましては、受取書、手形、売買契約書、借用証書等の課税最低限は百円、また物品切手のそれは十円となつておりますのを、最近における経済取引の実情より考慮いたしました。

最後に、骨牌税法の一部を改正する法律案について申し上げます。

従来トランプ及び花札に対しましては、一組につき百三十円の税率で課税率にて、前者については、千円に、後者については五十円に、それより引上げることとしたいたのであります。

政府は昨年の減税に引き続きまして、今年さらに以上のことく巨額の減税をして参つたのであります。これは高率に過ぎるくらいがありますので、さきに物品税の税率を引き下げたことと関連しまして、一組につき五十円の税率に改めることとしたのであります。

以上各法律案につきまして、その大要を申し上げましたが、昭和二十六年六百万円の減税となる次第であります。

政府は昨年の減税に引き続きまして、

今年さらに以上のことく巨額の減税をして参つたのであります。これは高率に過ぎるくらいがありますので、さきに物品税の税率を引き下げたことと関連しまして、一組につき五十円の税率に改めることとしたのであります。

以上各法律案につきまして、その大要を申し上げましたが、昭和二十六年六百万円の減税となる次第であります。

政府は昨年の減税に引き続きまして、今年さらに以上のことく巨額の減税をして参つたのであります。これは高率に過ぎるくらいがありますので、さきに物品税の税率を引き下げたことと関連しまして、一組につき五十円の税率に改めることとしたのであります。

以上各法律案につきまして、その大要を申し上げましたが、昭和二十六年六百万円の減税となる次第であります。

政府は、開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 次に、同じく昨二十九日付託に相なりました国民金融公庫法の一部を改正する法律案、及び開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○西川政府委員 国民金融公庫法の一部を改正する法律案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

本公庫は、発足以来国民大衆の資金需要に応ずるため再三の増資を行いまして、昨年十二月末までに、普通小口貸付四十二億四千万円の貸付を行ひ、

では、重ねて再評価を行うことによると減収額を含めまして二十九億五千八百万円、相続税におきまして一億一千三百万円、総計六百四十億七千万円の減収となるのであります。これが重ねて再評価を行うことにより、再評価におきまして十五億千二百千八百万円、輸入砂糖に対する課税により六万円、輸入砂糖による減税となるのであります。これに今回の改正の一環としてす

すに実施している酒税の引下げ、物品税の改正、揮発油税及び砂糖消費税の引下げによる減収額百七十一億五千八百万円を加えますと、七百四十三億千六百万円の減税となる次第であります。

政府は、開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 次に、同じく昨二十九日付託に相なりました国民金融公庫法の一部を改正する法律案、及び開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○西川政府委員 国民金融公庫法の一部を改正する法律案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

本公庫は、発足以来国民大衆の資金需要に応ずるため再三の増資を行いまして、昨年十二月末までに、普通小口

人税法の一部を改正する法律案、相続税法の一部を改正する法律案の三改正案、及び後刻提出付託を予定せられております。

おられますので、公聽会を開き、広く一般から意見を聴取いたしたいと存じますが、右四案について公聽会を開くことに御異議ございませんか。

なお公聽会開会承認要書、公聽会開会報告書の提出、公述人の選定等、公聽会開会に関する手続等は、すべて委員長及び理事に御一任願いたいと存じます。この点も御異議ございませんか。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 次に、同じく昨二十九日付託に相なりました国民金融公庫法の一部を改正する法律案、及び開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○西川政府委員 国民金融公庫法の一部を改正する法律案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

本公庫は、発足以来国民大衆の資金需要に応ずるため再三の増資を行いまして、昨年十二月末までに、普通小口

人税法の一部を改正する法律案、相続税法の一部を改正する法律案の三改正案、及び後刻提出付託を予定せられております。

おられますので、公聽会を開き、広く一般から意見を聴取いたしたいと存じますが、右四案について公聽会を開くことに御異議ございませんか。

なお公聽会開会承認要書、公聽会開会報告書の提出、公述人の選定等、公聽会開会に関する手続等は、すべて委員長及び理事に御一任願いたいと存じます。この点も御異議ございませんか。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 御異議なしと存じます。

○夏堀委員長 次に、同じく昨二十九日付託に相なりました国民金融公庫法の一部を改正する法律案、及び開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案

○西川政府委員 国民金融公庫法の一部を改正する法律案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

本公庫は、発足以来国民大衆の資金需要に応ずるため再三の増資を行いまして、昨年十二月末までに、普通小口

○夏堀委員長 この際お諮りいたしておきます。ただいま政府当局より説明を聽取いたしました税法七件のうち、ない次第であります。

○夏堀委員長 この際お諮りいたしておきます。ただいま政府当局より説明を聽取いたしました税法七件のうち、

一般の金融機関から融資を受けることが困難な国民大衆の生活を建て直し、経済の復興に寄與して参つたのであります。昭和二十六年度におきましては、公庫に対する資金需要は依然相当額に上るものと予想せられまして、この種資金の円滑な運用をはかることはきわめて必要でありますから、この際公庫の資本金四十億円を六十億円とすることとし、昭和二十六年度予算におきまして、公庫に対する出資金二十億円を計上したのであります。明年度におきましては、この増資額二十億円に既往の貸付金の回収金を加え、最低約五十億円の新規資金が確保されることとなつております。

以上の趣旨によりまして、本法律案を提案した次第であります。何とぞ御審議の上、すみやかに御賛成あらんことを御願いいたします。

次に、開拓者資金融通特別会計において貸付金の財源に充てるための一般会計からする繰入金に関する法律案提出の理由を、御説明申し上げます。

開拓者資金融通法による農地の開拓者に対する資金の貸付に関する歳入歳出につきましては、開拓者資金融通特別会計を設けて經理いたしておりますが、この貸付金の財源は、従来この会計の負担で発行する公債または借入金によつて調達して参つたのであります。思われますので、昭和二十四年度から引き続き一般会計からの繰入金をもつて、その財源に充てて参つたのであります。

昭和二十六年度におきましても、前年度と同様の趣旨をもちまして、營農資金として十億一千四百四万円、共同

施設資金として四千二百二十五万円、償農促進対策資金として三億六千七百万円、合計十四億二千三百二十九万円の貸付を計画いたしておりますので、この額を一般会計から繰入れまして、将来貸付金がこの会計へ償還されますので、繰入額に相当する金額に達するまで、予算の定めるところにより、一般会計へ繰りもどす規定を設けることといたしたいのであります。

以上の理由によりまして、この法律案を提出いたしました次第であります。何とぞ御審議の上、すみやかに御賛成あらんことをお願い申し上げます。

○田中(継)委員 議事進行上ちょっと申し上げたいのであります。税制に関する御要請であります。税制に関連いたしまして、資料を要求いたしました。何とぞ御審議の上、すみやかに御提案説明を、伺つたばかりでございまして、飛び／＼に要求することもどうかと思いますので、月曜日ないし火曜日ころにまとめて、資料の提出を要求いたしたいと思います。その点あらかじめ政府当局にお含みおき願いたいと思います。きょう若干のものは要求する準備もいたして来たのでありますけれども、全部まとめて要求いたしたいと思いますから、月曜日か火曜日にお願いします。

○夏堀委員長 それでは月曜日に必要な各資料の御要求を各員から提出するようお願いいたします。

午前十一時二分散会

昭和二十六年二月十七日印刷

昭和二十六年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印 刷 庁